

中津市民病院化学療法レジメン

【レジメンNo】S-G29

申請日	2021/12/2	承認日	2021/12/13	委員長	印
レジメン登録	2023/10/1	仮承認日		承認者	印

CapeOX+Nivolumab	病名	胃癌	外科	提出医	Dr
対象	HER2陰性の切除不能な進行・再発胃癌・胃食道接合部癌 一次治療				

薬剤商品名 (一般名)	投与量 (mg/m ² 等)	投与方法 (div.iv.po等)	投与スケジュール(日)																	
			1	5	8	10	15	20	22	25...	35									
オプジーボ(ニボルマブ)	360mg/body	div	○																	
オキサリプラチン	130mg/m ²	div	○																	
カペシタビン	※	po(朝)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○					
	※	po(夕)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○					

投与間隔・休薬期間等: 21日=1コース

←————— 1コース —————→

【投与処方例(前投薬など)】

- *手足症候群予防として、保湿剤を処方すること。
 - *オキサリプラチン投与中は温罨法を行う。
 - *Nivolumabは、インラインフィルターを使用する。治療開始前に可能な限りPD-L1検査を実施。
- ① メインキープ【緑】生理食塩液250mL / div
 - ② メイン【赤】生理食塩液100mL+オプジーボ /div 30分
 - ③ メイン【赤-1】5%ブドウ糖液100mL+アロカリス1V+パロノセトロン1V+デキサート4mg /div 30分

④ メイン【赤-2】 5%ブドウ糖液500mL+オキサリプラチン+デキサート4mg /div 2時間

制吐剤セット処方④

Day2.3 デカドロン錠4mg 1錠(分1 朝食後)

*腎機能低下時の減量方法については、クレアチンクリアランスに応じて、カペシタビンの投与量を変更すること

Ccr30~50mL/min 75%Dose

Ccr30未満は禁忌

※カペシタビンの内服量 2000mg/m²/Day

血液毒性・非血液毒性発現時の休薬・減量・再開基準を参考にする。

体表面積	1回用量※	1段階減量	2段階減量
~<1.36m ²	1,200mg(4錠)	900mg(3錠)	600mg(2錠)
1.36m ² ≦~<1.41m ²	1,500mg(5錠)		
1.41m ² ≦~<1.51m ²		1,200mg(4錠)	
1.51m ² ≦~<1.66m ²			900mg(3錠)
1.66m ² ≦~<1.81m ²	1,800mg(6錠)	1,500mg(5錠)	
1.81m ² ≦~<1.96m ²	2,100mg(7錠)		
1.96m ² ≦~<2.11m ²		1200mg(4錠)	
2.11m ² ≦~			

オキサリプラチンの投与基準

初回投与量	1段階減量	2段階減量
130mg/m ²	100mg/m ²	85mg/m ²

【治療開始基準】

観察/検査項目	開始基準
好中球数	$\geq 1500/\text{mm}^3$
血小板数	$\geq 100000/\text{mm}^3$
総ビリルビン	\leq 施設基準の1.5倍
AST、ALT	\leq 施設基準の2.5倍(肝転移の場合5倍)

参考文献: ATTRACTION-4試験

Boku N, et al.: Ann Oncol. 30(2): 250-258, 2019

Check Mste 649試験

当院患者治療目的以外は
使用不可